

平成 27 年度

建設現場見学会感想文

- 徳島県立阿南工業高等学校 -



一般社団法人徳島県建設業協会

< 現場見学会感想文 >

阿南工業高等学校／平成27年11月24日

- 1. 平成26-27年度 那賀川大橋上部工事**
- 2. 平成27年度桑野川右岸黒津地堤防工事（その1）**
- 3. H26 波土 山王谷 美波・日和佐浦 砂防工事**
- 4. 道路改築工事（橋梁上部工事）**

○池田稜太

11月24日、僕は現場見学会で4カ所の工事現場を訪問しました。

最初に訪問したのは那賀川大橋で行われていた工事現場です。この現場の近くを通ることもよくあり、通る度にこんな大きな橋をどうやって移動させているのだろうと思っていました。話を聞くとスライドジャッキや盛替ジャッキを使って移動させているということが判りました。映像で見せてもらい細かな説明があつてとても分かりやすかったです。

次に見学したのは桑野川河口で行われていた堤防の工事です。この工事現場に来た時には準備や構造物撤去が終わっていて地盤改良をしていました。地盤改良は液状化現象を防ぐための締め固めという作業らしいです。この現場でも映像を使った説明がありました。映像では工事の一連の工程が詳しく説明されていてとても分かりやすかったです。

3カ所目の砂防ダムは工期よりも早く終わったため工事はしていませんでしたが、砂防ダムを見ながら説明を受けました。

4カ所目は出合大橋の道路改築工事でした。ここの現場はニールセンローゼ橋という下路アーチの橋を作っていました。僕たちが見学にした時はワイヤーを通す作業をしていました。

最後に、忙しい中、僕たちのために時間を作って頂いてありがとうございました。教えていただいたことを活かして今後役に立てていきたいです。

○岩佐智志

現場見学会の中で1番興味を持ったのは道路改築工事出合大橋です。理由は、小さい頃、今はあまりしませんが、大きく長い橋を見たり、写真を撮るのが好きだったからです。初めて出合大橋の現場を見学した時は、やっぱりすごいな、と思いました。

橋の種類（徳島県）は六条大橋、青石橋、名田橋、阿波しらさぎ大橋、吉野川橋、三好大橋、角の浦大橋、四国三郎橋、かずら橋、大鳴門橋です。この橋の中で通った橋は吉野川橋、三好大橋、四国三郎橋、大鳴門橋です。吉野川橋は今年の夏休みの終わる2日前に羽ノ浦から歩いて友達と行き、吉野川橋を通ったことがあります。橋についての説明でより興味を持ったものがアーチ橋の分類の説明です。上路アーチ、山間部や深い溪谷に渡すアーチ橋としてよく採用される、アーチ部材が外に開こうとするため、強固な岩盤が必要となるというのと、下路アーチ、広い河川などの桁下空間が比較的限られている場所で採用される例が多い、上路アーチに対し、補剛桁が引張材の役目をなすため、強固な基礎が必要な都市部などでも採用されているというのと中路アーチ上記の二種類と比較して、美観的には優れているが施工難易度は高く、採用例も少ないという説明です。こういう現場が見れて良かったなと思います。

お礼の言葉が急なため、言えなかったのですが、こんな僕らのために現場見学させていただき、ありがとうございます。

○岩郷雄大

僕たちは現場見学会で4カ所行きました。そして、その4カ所全てすごかったです。

最初的那賀川大橋の工事では、作っている途中の橋を歩きました。ものすごく高かったので少し怖かったです。橋の工事の仕方は、①送り出し②主桁降下・横取りの順番です。送り出しの方法は、油圧ジャッキを用いて一メートルずつ送り出すそうです。主桁降下・横取りは送り出し完了後、主桁を降下して残り一メートルの時点で鋼桁を正規の位置に横取りして、この後、残りの1メートルを降下して支承に据え付けるそうです。橋の工事の仕方がこうしているのが分かって良かったです。

次の現場は僕のじいちゃんの建設会社、中幸建設です。堤防工事の順序は①準備工②構造物撤去工③地盤改良工④護岸基礎工⑤盛土工⑥一号ブロック工⑦張りコンクリート工⑧二号ブロック工⑨天端コンクリート工です。そして僕たちが見学に行った時はもう3個目の③地盤改良工をしていました。地盤改良工では杭打機、クレーン50t、タイヤショベル1m³が使用機械です。地盤改良工はまず始めに施工基面を整備するそうです。そして杭を打っていきます。実際に見たらものすごく機械は大きくてビックリしました。杭を打っているところもものすごく迫力がありました。僕たちに説明してくれる人が実験をしてくれました。それは、水槽に土を入れて、杭を打っている方と打っていない方を作っていました。そして両方に同じ量の水を入れて揺らしたらどうなるかという実験でした。その実験の結果は締固めをしている方は何もならず、していない方は液状化現象が起こりました。こういう説明の仕方は分かりやすく良かったです。

今回のこの体験を活かして将来、建設会社に就職したら、この見学会のことを思い出して活かしたいです。こんないい機会をいただいてとても嬉しいです。

○河野健斗

今回の現場見学会で思ったことは、僕たちがよく通る橋のしくみや組み立て方を知ることができて良かったと思います。

橋にもいろんな種類があって、いろんな面白い橋の名前があって、それぞれ工事の内容があってすごいと思いました。

橋を作る環境によって工事する方法や内容を変えて講じていました。見学会の時に橋の上に登らせていただきましたが思ったより高く、川の上でしかも海からも近く、風が強かったです。

今回、見学に行った橋は工場で組み立てた橋が多いのにビックリしました。その場で組み立ててきた橋を組み立てているとは知りませんでした。組み立てた橋を押し出して反対側に架けるという大変そうな工事でしたが、油圧ジャッキで押し出すという方法だったので、楽なのかなと思いました。現場は全然大変そうで工事する人がいっぱい居て、すごそうでした。この送り出しの工事が完了すると高さを下げる降下設備もすごかったです。

僕が1番関心したのが工事で使った機材を一度使ったら捨てるのではなく、もう一度使うという地球にやさしい事をしている事を知らなかったのですごいと思いました。

いろんな現場で安全も大事ですが、環境も大切にしなければいけないし、工事をする事で川や山など自然の場所に工事をするので、その場所の生態系にどんな被害があるのかを調べている事もはじめて知りました。

今回の現場見学のおかげで知らなかった事が知れてとても勉強になりました。ありがとうございました。

○合田安嗣

現場見学会に参加させて頂きまして、本当にありがとうございました。短い時間でしたが、多くの経験をさせて頂きました。普段、通っていた橋などでも、工事をしていた事も知らなかったのが驚きました。

最初、那賀川大橋では、初めての安全帯や高いところに登ったりしました。最初は結構怖かったけれど、徐々に慣れてきて、最後のほうは下を見る事も出来ました。

2番目に行った場所では地盤固めの大切さを知りました。杭を打っていない方と打っている方で、どちらの方が液状化になるのが早いかを見る実験では、杭を打っていない方は速攻で液状化したけど、杭を打っている方はなんともなかったのもので、すごいと思いました。その後で少し時間が余ったので地盤固めの機械を見せてもらいました。市役所の現場見学会でも同じ機械でしたが、こちらの現場の方がでかかったです。

3番目に行った場所は土砂崩れを止めるためにコンクリートで固めていました。本当は登れたらいいのですが、作業が順調に進んで早く終わってしまったので登れなかったそうです。少し残念でした。早く終わったおかげで下の方の住宅での土砂崩れの確率が低くなったので良かったと思いました。

4番目に行った場所ではアーチ橋の一つの出合大橋に行きました。出合大橋ではいろいろな形の橋がある事を知りました。橋は橋でもクロスして鉄骨を補強したり地中に繋げたりするやり方があると知りました。中にはワイヤーなどで吊るケーブルクレーンなどもありました。

今回の現場見学会で市民のためにいろいろな工夫をしながら建設業をしているのがすごいと思いました。また行ってみたいです。

○住友貴斗

那賀川橋に行って、工事中の橋に上らせてくださって、貴重な経験をさせて頂きました。橋は高いところに上らないと仕事ができないので、夏は暑いし、冬は寒いので、とても大変な仕事をしているのだなと思いました。安全帯を着けさせて頂き、これも貴重な経験になりました。那賀川橋は僕が中学生の時から工事をやっているのも、すごいことをやっているのだなと思いました。

桑野川右岸黒津地堤防工事を見学して、準備工に1ヶ月も時間がかかるんだと思いました。大きな機械で木材を運んだりして、ブルドーザーで土を運んだりして、堤防で津波から守って地震のときは土を硬くして、地震から守る工夫をしているのが分かりました。地元地域に迷惑をかけないように防塵対策をしていることに感心しました。

日和佐の砂防ダムに行って、土石流を防ぐために僕たちがいつも聞くダムは大雨で貯まった水をちよとずつ流す方を思い浮かべるのですが、このダムでは土石流から守るダムの方でした。広島で土砂崩れがあったので、それに備えているのだなと思いました。

出合大橋上部工事では、長安口ダム湖を南北に横断する出合大橋の鋼桁を製作・架設しているところでした。ここでは、橋をアーチ橋にするのに意味がありました。那賀町の山に合わせてアーチ橋を作ったそうです。その他にいろいろな橋の種類があると聞きました。桁橋やトラス橋など様々な橋があると知りました。この工事の設備は、ケーブルクレーンやグラウンドアンカーなど様々な難しい設備が使われているのが分かりました。ワイヤーロープはアフリカ象が11頭乗っても壊れないことが分かりました。

4カ所の見学をしたことを、就職に活かしていきたいです。

○多田健人

僕は、あんなにいい体験ができてとても良かったと思います。

1 回目の那賀川大橋の工事はとても危ない仕事でよく仕事できるなと思いました。あんな工事の中的那賀川大橋に登らせていただいていい経験ができたと思います。あのテレビでの解説はとても分かりやすくできていたのでとても良かったです。安全带をつけたのも初めてだったのでいい経験ができたと思います。

桑野川右岸黒津地堤防工事を見に行き、とてもいい勉強になりました。テレビ解説も分かりやすく良かったです。工事にいた工業の卒業生の話も良かったです。「何か自分の得意なことを一つでも見つける」という言葉が一番印象に残っています。僕も卒業生の人みたいに自慢できる自分の得意なことを見つけたいと思います。セーブコンポーザーという機械はとても大きくかっこよかったです。

土砂崩れを防ぐための砂防ダムの工事もいい経験になった。山から水も出ていて、いい場所だなと思った。あんなにコンクリートを作ってすごいなと思った。被害を少なくするためにあそこまで出来るのはすごいと思った。いつも聞くダムは水を貯めるダムとして聞きますが、今回のダムは土砂崩れを防ぐための工事があるのだと初めて知ったのでとても良かったです。広島土砂崩れを見て、とても嫌な気持ちになりました。それを防ぐために工事をしているのはとても助かるなと思いました。

出合大橋上部工事を見て、いい経験になったと思います。あんな高いところで工事をして大変だなと思いました。でも、建設会社に入ったらあんなことをしなくてはならないということを学べてとても良かったです。

この現場見学会があったからいろいろと学べました。いろいろとありがとうございました。

○谷 威吹

僕は、この現場見学会に参加して怖い場所が多かったです。特に最初に行った那賀川大橋上部工事では、実際に工事中の橋の上に上がりました。そこはとても高くて怖かったです。でも、ここでは初めて安全带を着けることができ、とてもいい体験ができたと思います。

この工事は、那賀川大橋付近 4 車線化で、国道 55 号の片側 2 車線から 1 車線に車線が減少する区間で生じている慢性的な交通渋滞の解消および交通安全の確保を目的としていて、普段、僕たちが気づかないうちにたくさんのことをしてきているということを改めて思いました。

次に現場見学をしたのは、中幸建設有限会社が施工する桑野川右岸黒津地堤防工事です。今後、南海トラフ巨大地震が高い確率で来るとされている中でこのような工事は必要でとても助かります。ここでは、2 つの砂を用意し水を入れて、この工事で使っている砂はふつうの砂とは違い揺らしても崩れないということを実験で見せてくれました。

次に行ったのは、日和佐の砂防ダムを見に行きました。ここの工事は順調に進んでおり、工事しているところは見ることはできませんでしたが、話をたくさん聞くことができ良かったです。

最後に行ったのは、那賀町の道路改築工事です。ここでもたくさん話を聞きました。橋にはたくさん種類があり、桁橋、ラーメン橋、トラス橋、アーチ橋、斜張橋、吊り橋の六種類が徳島県にあり、今回の那賀町での橋はアーチ橋ということでした。僕はこんなに橋があるのは知らなかったのでもっといい話を聞くことができたと思います。

今回の現場見学会は今後役に立つと思うのでとても良い経験になりました。本当にありがとうございました。

○日浦大地

僕は、この現場見学会に参加して良かったと思います。一番目に見に行った那賀川大橋の工事では「送出し装置」という機械を使って仕事をするのが分かりました。工事現場の中にも入れてもらえて階段を登っていくときに頭をぶつけそうになりました。階段を登っていくときは怖かったけれど、橋の上に立つと怖くなくなっていました。ビックリしました。「送出し装置」も生で見せてくれました。結局、安全ベルトは使わないまま一番目の現場見学会が終わりました。早くこの那賀川大橋ができるといいなと思いました。朝の渋滞が減ると思います。

2番目の現場見学会は桑野川右岸黒津地の堤防工事でした。ここの現場は順序が9つありました。

1つ目が準備工といわれ、草刈り機などで草刈りをするそうです。2つ目が構造物撤去工といわれ、工事に支障が出ると思われるものを壊して撤去することです。3つ目は地盤改良工といわれ、地盤の液状化を防ぐためにする作業だと思います。僕たちが現場見学会へ行ったときは、この作業をしていました。4つ目の護岸基礎工、5つ目は盛土工、6つ目は一号ブロック工、7つ目の張りコンクリート工、8つ目の2号コンクリート工、9つ目の天端コンクリートは資料には書いていなかったことと、自分の記憶が曖昧で説明が書けなかったので申し訳ございません。締め固めの杭を打つのに使っていた「セーブコンポーザー」という機械を阿南市役所の現場にも同じような機械が置いてありました。

3番目の現場見学会で行った所は日和佐にある砂防ダムを見に行きました。しかし、このダムはほとんど出来ていたのでもほとんどすることがなく終わりました。

4番目は那賀町日真～平谷の出合大橋（仮称）の現場を見に行きました。この現場に行くと橋のいろいろな種類を知ることができました。この出合大橋はアーチ橋といわれる種類を使うようです。さらにアーチ橋にも分類があって、上路アーチ、中路アーチ、下路アーチがあり、下路アーチを使用するそうです。下路アーチにも種類があり、この橋はニールセンローゼ橋という種類で作るそうです。この橋は徳島と高知を繋ぐ重要な橋です。早くできるといいです。

この現場見学会に行くと、いろいろな知識をつけることができ良かったです。

○本田倫平

僕は、現場見学会に行くといろいろな事を教えてもらいました。

1つ目の現場は、那賀川大橋上部工事に行きました。ジャッキを使った工事でした。1日20メートルしか作れないのはビックリしました。結構高いところで作業していたのですごいいいと思いました。送出しという作業を教えてもらいました。1つ目の現場でいろいろな作業や機械の名前を教えてもらいました。また、近くを通るとくに見たいと思いました。

2つ目の現場は、桑野川右岸黒津地堤防工事の所に行きました。ここでは、サンドパイルという作業を学びました。20メートルくらい土の中へ入れてそこから土を出す作業というのを学びました。20mの機械は思ったより大きかったです。堤防は作ってなかったけど考えて作っているのは分かりました。頭を使って作っているのだなと思いました。全部完成したら友達の家が近くなので遊びに行った時でも見に行きたいです。

3つ目の現場は、山王谷美波・日和佐浦砂防工事の所に行きました。行くのはちょっと遠かったけど、いろいろな事を学びました。土砂崩れや土石流の影響を防ぐためにする作業でした。現場に歩いて行ったとき周りに家が沢山あったので土砂崩れや土石流が起こった時、巻き込まれるなと思いました。地元の人たちの事を守る工事だというのが分かりました。人を災害から守る仕事はカッコいいと

思いました。

4つ目の現場は出合大橋上部工事の所に行きました。ここではいろいろな種類の橋の名前を教えてくださいました。五十メートルの鉄塔がありました。すごく高かったです。1番上まで行って作業するのはすごいと思いました。

何も知らなかったけど優しく解りやすく教えてくれたのでいろいろな事がちょっと分かるようになりました。建設の事に関する事がこの見学会でいろいろな事が分かりました。今後、この体験で学んだことを活かす仕事に就きたいです。

○増尾義希

建設現場見学会に参加して思ったことは、1回目に行った那賀川大橋上部工事を見学した感想は、最初はダルいな〜と思っていたけど、実際行ってみてこんなやり方で橋を作っているんだなあと思いました。僕は高所恐怖症なので階段を登っていたとき怖かったです。とても高かったです。安全帯をつけても高いところなのでちょっと怖かったです。

2回目に行ったところは桑野川右岸黒津地堤防工事に行きました。最初はどうか工事をしているか説明されて、こうやって堤防を作っているんだなあと思いました。地震とかが起きたときに液状化を防ぐために杭を打ち込んで固めるんだなあと思いました。僕たちの目の前で実験もしてくれました。

3回目に行ったところは山王谷美波・日和佐浦砂防工事を見学しに行きました。あんな山奥で仕事しているんだなあと思いました。なぜか分からないけど、話を聞いていたらなんかフラフラしました。

4回目は出合大橋上部工事を見学しに行きました。鉄塔が倒れないように左右の鉄塔にワイヤーで前後に引っ張りながら鉄塔を鉛直に組み立てていくのだなあと思いました。

この見学で聞いたことをいかしていきたいと思います。将来、僕もこんな仕事に就くことがあればここで聞いたことを思い出して仕事に生かしていきたいと思います。

○宮木龍馬

参加して思ったことは、全部で4件くらい行っていろいろ学びました。

1件目は安全帯を着けて階段を上がって行って橋の下まで行きました。高くてけっこう怖かったです。でもこんなに工夫されて作られるのを知れて良かったです。

次の2件目は、海が近い所でやっていて堤防の建設でした。すごくおっきい機械があつて地面に刺さってっていました。堤防を作るのは、とても難しそうでした。あと、工業を卒業した先輩の人がいたのでなんか憧れました。

3件目は山王谷美波・日和佐浦砂防工事でした。山の中にあつてとても高いダムでした。ダムは水を貯めるので作るのもすごく大変そうだなと思いました。いろいろ説明してくれて少し分かりました。

次は出合大橋上部工事でした。すごい山の奥にあつて大きい橋でした。この橋を作るのは、かなり難しいと感じました。工事の人が詳しく解りやすく説明してくれて少し橋に興味を沸きました。いろいろな橋があつてすごいと思いました。周りには大きい川があつてすごかったです。

この高校生建設現場見学会に参加して、現場の人たちはとても人が良かったです。分かりやすいし、とても良かったです。このいろいろな現場を見学してとてもためになりました。将来に役立つと思いました。参加できて良かったです。楽しかったし、とてもためになったことが良かったです。

○森野友貴

11月24日、阿南工業の先生と生徒、建設業協会の皆様と現場見学に行きました。

最初に行ったのは「那賀川大橋」の上部工事を見学しました。なんかよく分からなかったけど、橋の上部をジャッキという道具で浮かし、スライドさせる送り出しという技術を使っていました。1日20メートル進むらしくて技術の進化に驚きました。橋の上にも登らせてくれました。危ないということで安全带というものを着けました。安全带は仕事に使う道具や命綱を付けるベルトみたいなものでした。一回は着けてみたかったので嬉しかったです。橋の上に登るとすごく高くてビックリしました。こんないつ落ちるかわからない場所で仕事をするのはすごく危ないと思いました。でも、そこで仕事をしている作業員さんたちはすごいと思いました。僕も逞しい建設技術者になりたいと強く思いました。

那賀川大橋の他にも見学に行きました。「桑野川右岸黒津地堤防工事」、「山王谷美波・日和佐浦砂防工事」、「出合大橋上部工事」の見学に行きました。どれも自分のためになったと思います。

この見学は自分にとって良い経験になったと思います。自分は建設業に就くことを目指しているのので、この見学で勉強したことを活かした立派な建設技術者になりたいと思います。現場見学はいい勉強になったので機会があればまた見学に行きたいと思っています。

○森本吹雪

桑野川右岸黒津地堤防工事では、砂杭を打ち込む際に緩衝孔を作って、既設構造物に影響が出ないように、そして、周りの住人に迷惑をかけないように工夫をしていることを知って、ものを作るだけではないのだなと思いました。杭を打ち込む機械を動かすにも免許が必要ということを知ったので、頑張っ勉強しなければいけないなと思いました。いろいろな免許を持っているとできることが増えることが判ったので、免許をたくさん取れるように頑張りたいです。

山王谷美波・日和佐浦砂防工事は、土砂崩れを防ぐためのものですが、砂防の手前が崩れてくるといことはないので気がなります。

出合大橋上部工事では、様々な橋の形があることが判ってビックリしました。また、橋のアーチの部分は別の場所で作ってここで組み立てていること知ってビックリしました。出合大橋に使われているニールセンローゼ橋は、いろいろあるアーチ型の中でどれだけの強度があるのかが知りたいです。ワイヤーを吊っていた鉄塔を解体して、他の場所で使うと言っていたんですが、ワイヤーは廃棄と聞きました。ワイヤーもどこかで使えないのか気になりました。

今回の現場見学会はとても良い勉強になりました。僕は何かを作ったりするのが好きなので、将来は良いものを作っていきたいと思います。そのためにいろいろな資格や免許を取っていきたいです。

○保田龍慧

この度は現場見学会に参加させていただき、ありがとうございました。

まず、最初的那賀川大橋上部工事で教えていただいた「送り出し工法」。1日で20メートルの距離を毎日繰り返して送り出すのはすごく衝撃を受けました。

2番目の桑野川右岸黒津地堤防工事。ここではまず除草、整備、構造物を取り壊し撤去する長い時間がかかる作業があることに建設業の大変さが伝わりました。さらにそこから施工基面の整備、地盤改良機の搬入、組み立ての作業があって工事に取りかかるようになり、そこから地盤改良を行う計画の大切さが分かりました。地元地域への配慮の道路清掃活動、環境対策の騒音計での騒音測定および騒音対策などの気配りの大切さも分かりました。

3番目の山王谷美波・日和佐浦砂防工事、4番目の出合大橋上部工事。この2つも勉強になりました。特に出合大橋上部工事では、桁橋、ラーメン供養、トラス橋、アーチ橋、斜張橋、吊り橋があることが分かりました。イラストで橋の仕組みや設備、ケーブルクレーン、斜吊索、直吊索、グランドアンカー、ワイヤーロープなどがどういう仕組みか詳しく分かりました。山王谷美波・日和佐浦砂防工事ではほとんど工事が終わっているのに見学させていただき、ありがとうございました。

○山口瑠弥

まず、那賀川大橋上部工事では、僕の知らないことが知れととてもためになりました。那賀川大橋上部工事での安全な装置の付けるのは初めてで新鮮でした。階段を上がっているときは少しグラグラして風も吹いているのでとても怖かったです。もし、僕がこういう仕事に就いた時のことを考えると、このような高さで風に適応しないといけないのだなと思いました。そして、那賀川大橋の作り方などを知りました。いろいろな機械が使われていました。こういう仕事は免許がいっぱい必要なのかなと思いました。参加したことで那賀川大橋の作り方が知れてとても良かったです。

桑野川右岸黒津地堤防工事では、地面に工夫をしていました。地面にサンドコンパクションパイル工法をしていました。サンドコンパクションパイル工法をすることで建物を崩れにくくする工夫をしていました。サンドコンパクションパイル工法はそれだけでなく、地面の液状化を防ぐ役割があることを知りました。桑野川右岸黒津地堤防工事の社員さんが普通の地面とサンドコンパクションパイル工法をした地面の実験を見せてくれました。2つの地面に同じ時間に同じ水の量を入れて揺らすと普通の地面は水浸しになり揺れていましたが、もう1つのサンドコンパクションパイル工法をした地面は全く揺れていませんでした。僕は、この工事で知りました。建物だけでなく、地面にも工夫していたのだと。

○大和隼人

高校生建設現場見学会で思ったことを書きたいと思います。

最初に那賀川大橋上部工事を見学しに行きました。ヘルメットと安全帯をつけました。これまで使うことは無かったけど、ちょっと安心しました。送りだし工法は、とても大変そうでした。少しずつ毎日橋を作る忍耐力はすごいと思いました。橋ができれば1番に渡りたいです。

次に桑野川右岸黒津地堤防工事を見学に行きました。海の近くでした。地震がきたときに揺れに耐えられるようにするのと、液状化を防ぐために行うサンドコンパクションパイル工法はとてもすごいと思いました。SAVEコンポーザーを見てすごいと思いました。とても大きかったです。

それから阿南工業の卒業生の話を聞きました。とてもためになりました。高校を卒業しても毎日勉強と卒業生の方が言っていました。とても嫌だと思いました。勉強はしたくないけど仕事は頑張って毎日したいです。

次に山王谷美波・日和佐浦砂防工事を見学しに行きました。そこで完成直前のダムを見ました。ダムをつくった人はすごいと思いました。砂防ダムを見学しているときに蟹を見つけました。美味しそうでした。工事現場に蟹がいるということは自然が壊されていないということだと思いました。工事現場の人に技術はとてもすごいと思いました。また見学に行きたいです。

○横手柊弥

僕はこの現場見学会をすごく楽しみにしていました。最初は気が乗りませんでしたが、昼食を用意してくれていると聞いて楽しみにになりました。

1件目は、那賀川大橋に行きました。那賀川の橋を架設しているのは、車で徳島に行くときが多いので知っていました。いろいろ教えてくれました。でも、全く覚えていません。でも、覚えているのは送り出し装置の動作がちょっとだけ覚えていました。資料を見たら完全に思い出しました。

2件目は桑野川右岸黒津地堤防工事に行きました。僕の家近くに堤防がいっぱいあるので、この工事には1番興味がありました。でもやっぱり、全然分かりませんでした。でも、実験をしてくれました。特殊な土と普通の土にペットボトルを突き刺して、机を揺らしてその強度を調べる実験でした。その結果は、あれは本当にすごいと思いました。

3件目は山王谷美波・日和佐浦砂防工事の所に行きました。その工事の説明をしてもらい、工事の見学をしました。

そして、昼飯を食べました。建設業協会の皆さん、本当にありがとうございました。とても美味しかったです。

4件目に出合大橋上部工事の現場に行きました。あの辺りは行ったことないので、工事をしていることは知りませんでした。また近くを通ったときは見たいと思います。

とてもいい現場見学会でした。